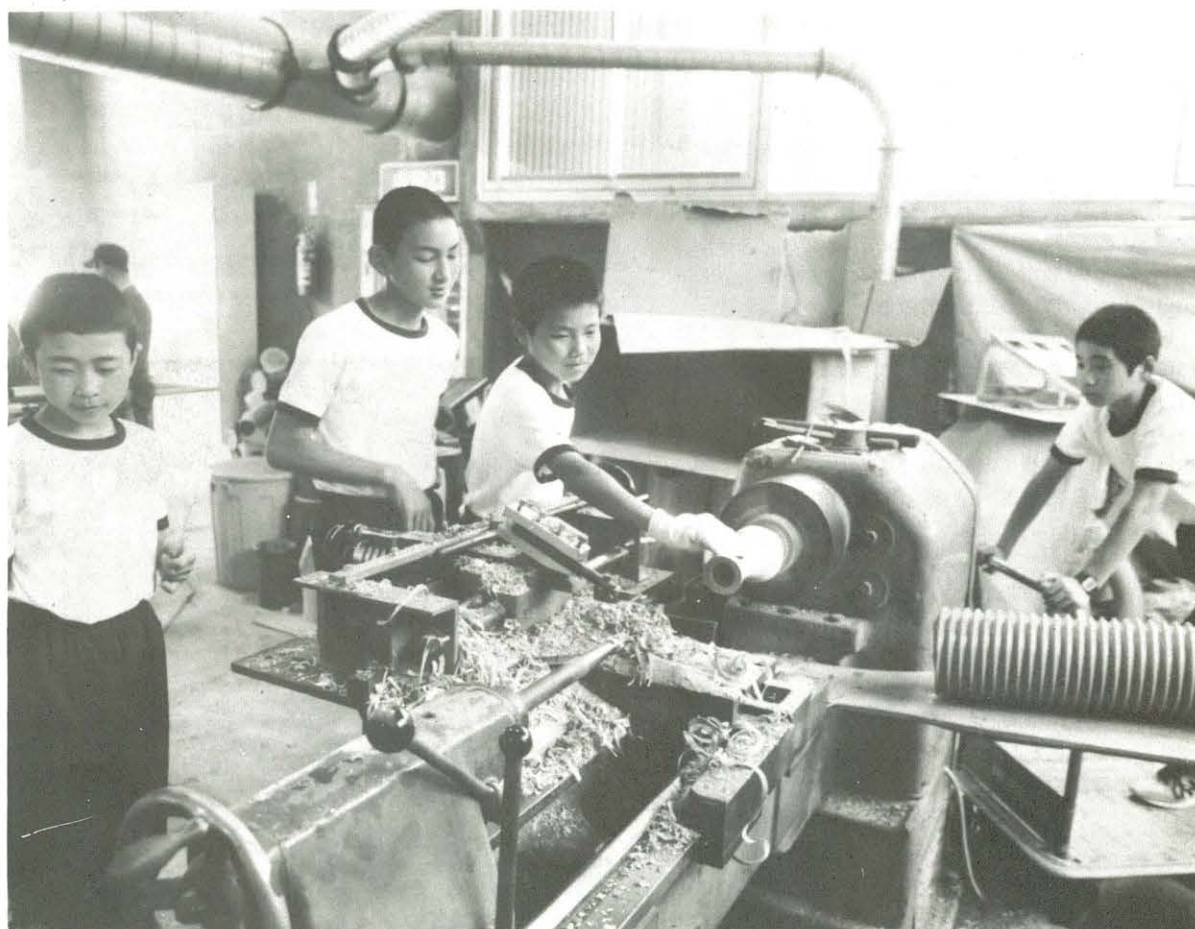


6月末の人口	
世帯数	658
男	881人
女	858人
計	1,739人

広報 **うまじ**

昭和57年7月20日発行
 第九六号
 編集 馬路村教育委員会
 発行 安芸印刷
 印刷



▲6月28日、魚梁瀬中学校は郷土学習の一環としてうまじ工芸センターで、魚梁瀬スギ工芸品の加工について勉強しました。写真は電動ロクロで花ビン製作をする生徒達の真剣な姿です。

夏休み…子供の交通事故をなくそう



夏休みに入ると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合いましょう。

月間

SPOT

5

月

- 1日 馬路PTA総会
- 7日 中芸青少年育成センター運営議会(於中芸行政組合)
- " 馬路村日赤奉仕団総会(於就改センター)
- 8日 村文推協総会(於就改センター)
- 12日 馬路子ども会育成会総会(於就改センター)
- 13日~14日 歯科巡回診療(於馬路)
- 13日~15日 村内小学校連合修学旅行
- 15日 交通安全パレード
- " 安田川漁協馬路支部会(於就改センター)
- 17日~20日 魚梁瀬地区春季ソフトボール大会
- 18日 村内小学校社会見学(1,2年安芸方面3,4年高知方面)
- " 奨学生選考委員会(於就改センター)
- " 教育委員会(於就改センター)
- 20日 農業委員会(於就改センター)
- 21日 魚梁瀬青年懇談会(於魚公)
- 23日 魚梁瀬老人クラブ、婦人会公園清掃
- 24日~27日 魚梁瀬地区湯浅杯ソフトボール大会
- 26日~30日 さつき・盆栽展(於就改センター)
- 29日 村商工会総会(於満木荘)
- 30日 さつき・盆栽講習会(於就改センター)

6

月

- 1日 鮎漁開禁
- 2日 村内災害危険力所調査(村、消防、土木事務所)
- 6日 村内一斉清掃
- " 馬路子ども会花壇手入れ
- 7日 魚梁瀬高齢者教室(於魚公)
- " 高知県総合防災訓練(於伊野町)
- 7日~8日 歯科巡回診療(於魚梁瀬)
- 8日 中芸中学夏季体育大会(於田野、奈半利ほか)
- 10日 コミセン運営に関する協議会(村・観光協会)
- " 馬路地区職域卓球大会
- 12日 魚梁瀬婦人会総会(於魚公)
- 14日 村体育指導委員会(於魚公)
- 15日~18日 6月定例村議会
- 15日 村観光協会総会(於コミセン)
- 17日 人権相談所開設(於魚公)
- 20日 馬路婦人学級(於就改センター)七宝焼教室
- 21日 安芸郡老人クラブ連合会総会(於コミセン)
- 24日 郡中学体育大会(於安芸、奈半利ほか)
- 25日 村文化財調査委員会(於就改センター)
- " 金林寺薬師堂県文化財指定記念行事
- 26日 ミニ・バスケットボール教室(於馬路体育館)
- 28日 魚中1日留学(於馬中、工芸センター)
- 29日 馬路高齢者教室(於村民運動場)
- " 乳児検診(於馬路・魚梁瀬)
- 30日~7月5日 馬路地区部落対抗バレーボール大会

→5月18日村内小学校社会見学(3・4年生)高知市比島県交通安全子どもセンターにて。



↑5月30日 さつき・盆栽講習会



↑6月6日 村内一斉清掃 (影部落にて)



↑6月21日 安芸郡老人クラブ連合会総会
(コミセンにて)

→6月30日~7月5日部落対抗バレーボール大会



岩城明信氏

厚生大臣表彰を受ける

馬路村民生委員協議会副総務、岩城明信さんが、このたび、民生委員として長く村福祉に貢献された功績により、五月二十一日、厚生大臣表彰を受けました。

岩城さんは、昭和二十三年四月から現在に至るまで三十余年間、馬路村民生委員として村福祉のために活躍されました。

また、五十二年には全国社会福祉協議会長表彰も受けておられます。



馬路村民生委員協議会 岩城 待します。

今後とも、なおいっそう地域福祉のために活躍されますよう、期待をします。

郵便局

だより

旅の思い出に

風景入り通信日付印を

全国各地の名所、史跡、天然記

念日など、その土地の風物を描いた日付印があるのをご存知でしょうか。

この風景入り通信日付印を備えた郵便局(全国で約二、七〇〇局)では、お客さまの申し出により、普通の日付印の代わりにこの風景入り日付印での消印をします。

また、官製はがき、郵便書簡、航空書簡及び四十円以上の切手をはった物への記念押印にも応じています。

旅先からのお便りやスタンプ帳などへの旅の記念にご利用になってはいかがでしょうか。

オンライン

サービスの開始

為替貯金事業のオンラインによるサービスは昭和五十三年八月から始められ、順次各県に拡げられておりますが、馬路局でもさる六月二十一日からオンライン業務を開始しました。

これはみなさまからの多種多様なご注文に対し、正確かつ、迅速に対応できるものと思っております。たとえば、利子の記入にしても即座にできるようになります。

なおいっそうの郵便貯金のご利用をお願いします。また、今までお持ちになっていた貯金通帳はなるべく早く早目にオンライン通帳に切り替えていただくようお願いいたします。

企画・産業建設課を廃止

産業振興課・建設課を新設

七月一日付けで

役場機構改革と人事異動

村では、産業振興部門の充実を主なねらいとして七月一日から一部機構を改革するとともに、職員の異動を行いました。

従来の企画課と産業建設課を廃止し、産業振興と建設課を新設したものです。

産業振興課の主な分掌事務は、
①農林水産・畜産 ②商業・工業・鉱業 ③統計 ④観光となっております。

建設課の主な分掌事務は
①土木建築 ②道路橋梁、河川 ③簡易水道

なお、従来、企画課で担当していた「村の総合企画調整」は総務課の分掌となります。

七月一日付での人事異動および配置転換は次のとおり
()内は旧所屬

産業振興課長―畠中郁穂(企画課長) 同主事―清岡宏敏(企画課長)
同主事―清岡敬二、田中富士夫(以上産業建設課) 建設課長―平野隆志(産業建設課長) 同主事―中川万士、上治堂司、五藤寿史(以上産業建設課) 同主事―岡田元生(総務課) 総務課主事―山中隆(産業建設課) 教育委員会主事―笹岡和美(診療所) 診療所主事―乾璃穂(教育委員会)

シートベルトは

あなたを守る命綱

馬路村では、毎月十五日をシートベルト着用推進の日(馬路村交通安全の日)として、交通安全運動を行っております。

夏は、暑さによる心身の疲労に加えて、海水浴などレジャーなどでマイカーの利用が増え、全国的に毎年、交通事故が増加する傾向にあります。

しかし、「面倒だから」「きゅうくつだ」などの理由で、シートベルトをしないドライバーや同乗者が増え、約七〇%の人がシートベルトを着用しておられませんが、まだまだ着用されていない人が多いようです。あなたのためです。車に乗るときは必ずシートベルトの着用を心がけてください。

昭和57年度高知県芸術祭、文芸賞作品募集について

高知県芸術祭文芸賞は、広く県民から作品を公募して、すぐれた作品を顕彰し、地元文化の発展と本県文芸の振興をはかることを趣旨として次のように作品を募集します。

一、主催

高知県、高知県教育委員会。

二、主管

高知県芸術祭執行委員会

三、公募作品の部門

短編小説 一人一編
詩 一人一編
短歌 一人三首以内
俳句 一人五句以内
川柳 一人五句以内

四、締切日

昭和五十七年十一月一日(当日消印有効)

その他送付先、応募注意事項等詳しいことについては馬路村教育委員会までお問い合わせ下さい。



部落を部落外に分散すれば

よいのではないでしようか、

「部落の人たちが部落外に分散してまぎれ住めば差別はなくなるだろう」これは、昔からよくいわれる分散論であり、部落差別の本質を無視した現実性のない無責任な放言であります。

社会意識としての部落差別観念のある限り、この差別は部落の人たちにつきまとうという特徴を持っています。その一例をあげますと社会的に信用のある人が、部落外に移住して行っても、「あの家は部落出身だから……」と顕在的潜在的に差別され、とくに利害問題や結婚問題となると、差別が顕著に現れてきます。この事実をみても、分散論では部落差別から解放されず分散論は無意味だといえます。

さらに大切なことは、部落の大多数の人は分散しても人なみの生活をする権利が保障されていないのです。そのなかで仕事の問題一つを取りあげてみても、部落の人たちの多くは、今の状態のまま分散すれば、不安定で低収入の仕事からくる生活の低さの実態がそのまま持ちこまれ、逆に差別が再生産されることとなります。

（こ）ではっきりしておかなければならないことは、「部落外の人

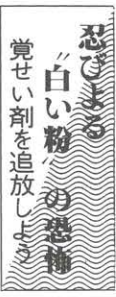
たちは集まって生活することは何ら問題がないが、部落の人たちが集まっていることがいけない。だから分散すればよい」という、部落問題解決の基本的なことに目を向けず、ただ「散れ、散れ」の発想は、それ自体がまちがいであつて、この考えの底流には部落差別意識があることに気づかなければなりません。

この差別意識が、社会全体に存在する限り、分散しても部落差別はなくなりません。

このような、現実性のない分散論の考え方でなく、まず自らの差別性から脱皮し、部落住民の願いや要求を正しく理解して、部落差別の本質をふまえて、いかにすれば部落問題を完全に解決することができかねるかを考えることが必要であります。

高知県教育委員会発行

「みちしるべ」より



白粉——覚せい剤の恐ろしさ

について、あなたはどのくらい存じますか。暴力団など、一部の

んか。

ところが、覚せい剤は、わたしたち一般市民の生活をじわじわと脅かしつつあるのです。現に、最近、各地で覚せい剤中毒者による通り魔殺人や放火など、凶悪な犯罪や悲惨な事故が後を断ちません。特に最近では、覚せい剤が青少年や主婦層にまで広がっており、その被害は家庭や職場にまで及びつつあります。

わたしたちの生活を恐怖のどん底におとし入れるこの白粉を何とかしても追放しなければなりません。そのためには、みなさん一人一人の自覚と協力が何よりも大きな力になるのです。

一般の人が覚せい剤を、製造・所持したり、あるいは、譲り受け、譲り渡しをしたり、使用すると法律により厳重な処罰を受けます。

昭和57年度「青少年を非行からまもる全国強調月間」

7月1日～31日

青少年非行は増加する一方であり、低年齢化が進行するなど大きな社会問題となっています。

青少年非行といつても、その背景は極めて複雑で、要因は多種多様であり、青少年自身及び家庭に

おける取組みはもとより、学校、地域、職場においても青少年の非行防止に注意することが必要であり、国民皆が各々の立場や持場で行動できるよう「国民総ぐるみ運動」として定着することが望まれます。

趣旨

次代を担う青少年を健全に育成することは、国民的な課題であるが、近年、青少年の非行が急激に増加し、悪質化、多様するなど憂慮すべき状況にある。

このため、総理府において、七月を「青少年を非行から守る全国強調月間」に設定したことに伴い高知県においても、この期間中に非行防止のための諸施策及び活動を集中的に実施することにより、非行防止の徹底を図る。

実施期間

昭和五十七年七月一日から同月三十一日までの一か月間

実施重点

- 一、県民の非行防止意識の高揚
- 二、青少年の非行防止
- 三、健全な社会環境づくり

昭和五十七年度月間標語

「非行の芽家庭と地域で早くつみ」

主唱

総理府

実施主体

高知県青少年対策推進本部、各市町村、青少年育成高知県民会議、青少年育成各市町村民会議

7月10日から20日まで「部落差別をなくする運動」強調月間

七月十日から二十日まででは部落差別をなくする運動が重点的に進められる強調月間となっています。

同和問題はわが国における大きな社会問題であり、「早急な解決こそ行政の責務であり、国民的課題である」との認識のもとに関係施策を推進してきましたが、新たに地域改善対策特別措置法の施行を機にこれまでの取り組みの実績と反省の上に立って、広く県民に対し啓発活動をより以上に展開し、人権擁護活動をおく進め、部落差別の完全解消を図るため「部落差別をなくする運動」強調月間を実施するものです。

この期間に、重点的に新聞テレビなどを通じての広報事業、講演会が県下の実施されます。



シートベルト着用 推進の村 馬路村

法律扶助制度を

ご存知ですか

裁判をしたいが費用がない！
弁護士も知らない

交通事故、土地や家屋の明け渡し、金銭の貸し借りにともなうトラブル、離婚や相続、私たちのくらしにはいろいろな紛争が起こります。そんなとき、弁護士も知らない、頼む費用もないという方は法律扶助協会においでください。

協会では、裁判の必要があるのに、自分では裁判の費用が出せない方のために、費用を立て替え、訴訟や調停の援助を行っています。

裁判費用の立て替えを受けるには
協会の裁判費用立て替え（法律扶助）を受けるには、次の二つの条件に適合することが必要です。
一、自分では裁判費用の負担が苦しいこと。
二、勝訴（解決）の見込みがあること。

法律扶助協会が
立て替える裁判費用

協会では、費用の立て替えを希望される方のために「法律扶助審査委員会」を開いていますので、

ここで費用の立て替えが決まると事件の処理に要する後記の費用が支出されます。

一、訴訟費用

訴訟のために裁判のために裁判所に納める費用

二、保証供託金

仮差し押え、仮処分のために供託する保証金。

三、弁護士の手数料

事件の処理を依頼するとき弁護士に支払う着手金。

四、弁護士謝金

事件の処理が終了したのち、依頼者の方が受けた利益に応じて支払う報酬。

事件の処理

協会では法律扶助を決定した事件について弁護士会に、受任弁護士の推せんを求めます。

事件を受任した弁護士は、依頼者の方のために最も有利な解決を図り、事件が解決すると、その処理の結果を協会に報告します。
協会では、事件処理の結果をもとに、謝金（報酬）を定め、これと共に立て替えた費用の返還方法を決めます。

立替金の返還方法

立替金の返還方法には

(一) 全額一時返還

(二) 割賦返還

があります。生活状態によって

(三) 返還の猶予

を受けることもできます。

※ なお、返還の猶予を受けた方がその後も立て替え費用を返せる状態にならない時は、返還を免除される道もあります。

以上が法律扶助制度のあらましですが、この制度を利用されたい方は、法律扶助協会高知県支部高知市丸の内一三三五 高知地方



裁判所内 TEL0888-7210324、高知地方事務局安芸支局（安芸市矢の丸二一六）TEL0888-3512272
または、本村の人権擁護委員さん（西野寿雄 井上満）の自宅までご相談ください。

馬路・魚梁瀬俳句会

善心

悠久の御堂の幽さ苔の花

妹を五月の街に見失う

初夏の風メモする紙をとばしおり

梨花

夏蝶の「白」たわむれに低く飛ぶ

入梅期金糸銀糸の日照り雨

十葉の花おつおつとしおらしき

きみえ

太陽の塔にたたずみ花の屋

一番茶かごに満たざる夕かな

初節句ちまき供えて孫を撮る

百合子

芦五月釣竿ばかり動きおり

たち寄りて田の水かげん時鳥

ひこばえに憩いて煙草匂い来る

眸

梅雨寒をかこてば人も言いにけり

朝の雨水恋鳥のいくつ居る

裏窓のしげりに続く青さかな

千鶴子

手伝いの孫ら蛸蛸追う植田ふむ

米倉に初夏訪れし蛾のとびぬ

ひめごとを見すかすような五月晴
弥生

振って見て音高き種蒔いてみる
ぷちぷちと茶を摘む音のねむそう
なひげ虫をたたき落して梅をもぐ
節子

隠れ咲きほろとこぼれて柿の花
五月雨は掬目亭の真砂にも
ふとよぎる小さき駅のさつき展
雅子

鮎釣や見えてかからぬ鮎ばかり
道ばたに蝶の片羽根蝶みえず
のむほどに笑いだす人花の宴
麗山子

蒲公英の一生眺めいて一人
春蘭を撫みて登る杣の声
夏めきて老の乳房の軽からず
浪江

遠き地に母病んでおり明け易し
梅雨晴やいすこともなく鳥の声
縁ありて集う句友や梅雨の宿

第十回馬路村文化祭は

11月13・14日

馬路村文化祭も本年で第十回をむかえます。本年は、十一月十三・十四日の両日、馬路体育館を中心として開催します。
村民のみならず、第十回記念馬路村文化祭が盛りあがりますよう、今から作品のご準備を。

馬路村文化推進協議会

保健婦だより

むし歯のない
子に育てよう!!

「どうせ、はえ変わるから!!」
とほつっておかないで!!

乳歯は全部が永久歯にはえ変わるまで十年あまり使う歯です。子どもが一生の内ではいちばん成長する時期にむし歯で食物が十分に食べなかつたらどうでしょう……。そればかりか、あごの骨や筋肉の発育、また永久歯の歯質、歯並びにも悪影響を与えます。

母乳、哺乳瓶は

やめましたか?

母乳・哺乳瓶は一歳までにやめましょう。練習すれば生後5カ月ぐらいからコップでじょうずに飲めるようになります。いつまでも哺乳瓶を使っていると、むし歯になったり歯並びが悪くなったりします。ぐずっても哺乳瓶に子守りさせたりジュースや牛乳を入れて寝かせながら飲ませないようにしましょう。

むし歯のできやすい

ところへ注意

むし歯は奥歯のかみあわせのところと歯と歯の間がいちばんできやすく、これはおとも子どもも同じです。子どもの歯(乳歯)でいちばんむし歯になりやすいのは

歯と歯の間



歯と歯ぐきの接する部分



かみあわせ

下あごの奥歯で、その次は上あごの奥歯、そして上あごの前歯の順です。

歯みがきは十分ですか?

(一)歯がはえる前

授乳のあと、湯ざましかお茶を飲ませましょう。

(二)歯がはえ始めた

飲んだり食べたあと、脱脂綿かガーゼで歯の汚れをふきとりましょう。

(三)ハブラシが使えるくらい歯がはえたら

(前歯が2本はえたら)歯みがきを始めましょう。

ひざに寝かせて幼児用のハブラシで歯みがき粉をつけずにお母さんがみがきましょう。

(四)自分でハブラシが使えるようになったら……

お母さんといっしょにみがきましょう。そしてお子さんがみがいた後、お母さんがもう一度みがきなおしてあげましょう。

健康なくらし

-2-

止血

わたしたちの体は、一度にたくさん血液が失われると、非常に危険な状態に陥ります。ぜひ「止血法」(血を止める方法)を覚えておきましょう。

少しぐらいの切り傷や刺し傷なら、特別な処置をしなくても血は止まります。これは血液に含まれる「血小板」という成分の働きで、血液が固まるためです。

ところが傷口が大きかったり、深かったりすると、血がなかなか止まらないことがあります。そんなときに役立つのが「止血法」です。

(一)直接圧迫による止血

消毒したガーゼなどを直接傷口に当て、その上から手や指で強く押さえます。血の出ている個所が手や足の場合には、体位をうまくとって心臓より高い位置に傷口を持っていくと、血が止まりやすくなります。

止血しながら、一方で他の部分の応急手当をしなければならなるときは、包帯や三角巾を使って傷口をしぼります。

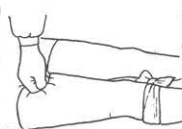
その場合、強く結びすぎたり、結び目が傷口の上にこないよう注意してください。

(二)間接圧迫による止血

心臓の鼓動に合わせて血が出る

ときは、動脈を損っている証拠で、出血は止まりにくいものです。

このような場合は、傷口を直接押さえるだけでなく、傷口と心臓の間で脈の感じられる箇所を手や指で押えます。



間接圧迫による止血

(三)止血帯による止血

(一)、(二)の方法で血の止まらないとき、手足の傷に限り「止血帯」を使います。

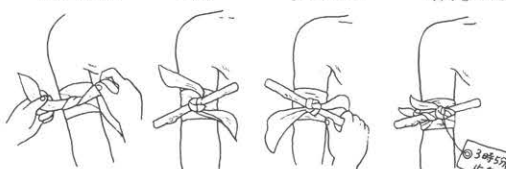
止血帯としては包帯、三角巾、手ぬぐい、緊急の場合にはネクタイやストッキングをうります。ただし、あまり細いものは体に食い

D 棒を固定し
時間を明記

C 血が止まる
までねじる

B 棒を差し
込む

A 包帯などを
巻いて結ぶ



止血帯による止血

込むので避けましょう。

止血帯は手や足の付け根に巻きます。まず、三角巾や手ぬぐいを二回巻いて軽く結び、結び目に棒などを差し込んで、ぬじりながら血の止まるまで締めつけていきます。

止血帯を巻いておけるのは、手で一時間、足は三時間ぐらいが限度で、それ以上は危険です。医師に引き渡した場合、いつ止血が行なわれたか分かるよう、止血帯には止血を始めた時間を記入しておきましょう。

毎月一日は「省エネ

ルギーの日」です

くふうでさわやか

夏の省エネ

毎月一日は、「省エネルギーの日」です。身近なことからエネルギーの節約を心がけましょう。

◆電灯・テレビなどは、こまめに消しましょう。

◆風呂の水は、午前中に張っておく、家族ができるだけまとまって次々にはいりましょう。

◆通勤・レジャーには、マイカーをひかえ電車・バスなどを利用しましょう。

◆冷房温度はおおむね28℃にしましょう。

スポーツ コーナー

強球会

◎◎◎二年連続優勝

馬路地区職域卓球大会は、六月十日に行なわれ、八チームが参加して熱戦が展開された結果、昨年に引き続き、強球会が二年連続優勝をしました。なお、二位は役場A、三位は役場Bとなっております。

魚梁瀬地区春季ソフトボール大会

魚梁瀬地区春季ソフトボール大会は、五月十七日から二十日まで行なわれました。

教育委員会から高齢者

軽スポーツ教育のご案内

とき 毎週火曜日
午前九時～十時三十分
ところ 村民運動場でゲートボール教室（雨天のときは就業改善センターで軽体操・ゲームなど行ないます。）

魚梁瀬では…
午後二時三十分～四時
魚梁瀬公民館前公園で
ゲートボール教室（雨



→馬路高齢者ゲートボール

※おおよそ六十歳以上の方なら誰でも参加できます。
近所の方ともさそいあって、お気軽においでください。
また、毎週土曜日、午後七時三十分から馬路体育館では一般の方のための軽スポーツ教室も開催しています。



湯浅杯ソフト ソフトボール大会

魚梁瀬地区湯浅杯ソフトボール大会は、五月二十四日から二十七日まで行なわれました。
結果は次のとおり



男女とも影部落優勝

馬路地区部落対抗ハレーボール大会

馬路地区部落対抗ハレーボール大会は、六月三十日から、七月五日まで行なわれ、男子七チーム、女子四チームが参加し、男子は、影Aが決勝で2対1で日浦Aを取り優勝、女子は影が日浦Aを2対1で取りそれぞれ優勝しました。

スポーツ障害保険（掛金一人六八〇円）へまだ加入されていない方は、教育委員会または体育会（魚梁瀬の方は役場支所でも可）へお早めに…

本年は3kmと5kmで実施

第三回馬路おしどりマラソン大会

本年度で第三回をむかえるおしどりマラソン大会は、九月十九日（日曜日）に開催されます。本年は、3kmのコースのほかに5kmのコースも設けました。参加料は、三千円（夫婦）です。参加されるご夫婦は八月末日までに教育委員会まで申し込んでください。要項および、参加申込書は教育委員会および、役場魚梁瀬支所に置いてあります。詳細については教育委員会（TEL 四一二二一六）まで

ご出産おめでとうございます

ごめい福をお祈りします

氏名	性別	行年	亡月日	世帯主	続柄	部落
中屋 常盤	男	82	6・4	隆夫	養父	影
西山 春野	女	75	6・7	健吉	妻	影
平野 雅利	男	68	6・15	隆志	父	影
益田 豊秀	男	59	6・19	主		影
北村品石衛門	男	82	6・22	廣美	養父	中ノ川
手島 道敬	男	84	7・3	次雄	父	魚梁瀬

父 博之 母 幸子 赤ちゃん 続柄 月日 部落
清岡 博之 幸子 拓也 二男 S 57・5・19 相名

教育の窓

安芸郡中学

通信陸上競技大会

安芸郡中学通信陸上競技大会は六月六日に芸西村で開催され、馬路中が参加しました。

主な結果は次のとおり
男子ベスト千五百メートル

- 二位 丸山 和伯 4分51秒5
- 男子ベスト三千メートル
- 二位 大野 登央 10分17秒7
- 女子ベスト四百メートルリレー
- 二位 馬路中(尾谷里津枝 西野千尋 樋口真弓 尾谷和加枝) 59秒4

- 女子ベスト走り巾跳び
- 二位 尾谷和加枝 4m12cm
- 女子ベスト走り高跳び
- 一位 清岡 美智 1m35cm
- 三位 樋口 真弓 1m30cm
- 男子三種競技A

馬路小学校清掃奉仕活動で

県知事表彰を受ける

理解とご協力をお願い致します。



↑馬路小、主要道ちりひろい

馬路小学校では、昭和五十四年から校外活動として、全校あげて環境美化活動を推進しており、県道沿線での花壇づくり、年間六、八回行なっている学区内の主要道沿線のちりひろい、清掃活動を行なっています。

このたび、この善行が認められ、六月八日、県庁において県知事表彰を受けました。

今後とも子ども達の地域活動が絶えることなく続けられることはもとより、村民のみならず、子ども達の活動にこ

- 一位 山中淳 二・三七〇点
- 大会新記録
- 女子三種競技A
- 一位 大西良恵 二・一九九点
- 大会新記録

馬路中バスケット
念願の初優勝：郡体で
中芸では八年連続制覇

安芸郡中学校夏季体育大会は、六月二十四日に安芸市ほかで行なわれ、女子バスケットボールの部で馬路中が決勝で安芸中を敗り、念願の初優勝の栄誉に輝きました。また、六月八日に奈半利町で行なわれた中芸中学夏季体育大会でも、八年連続優勝という快挙を成しとげました。

←馬路中女子バスケットボール部



郡体での馬路中
バスケットボール部成績
一回戦：不戦勝 二回戦：清水ケ丘中51-30 準決勝：奈半利中45-16 決勝：安芸中60-18
なお、馬路中野球部、魚梁瀬中男子バスケットボール部、女子卓球部も郡体に出場し、健闘しましたが、惜しくも初戦で敗退しました。

教育相談所 だより ⑧

シンナー・ボンドの 乱用について

シンナー吸引の動機を考えると、

一、仲間(友人)の影響……四十八%

(1)友人にさそわれて(二十、一%)

(2)友人のやっているのを見て(十三、二%)

(3)友人に聞いて(七、六%)

(4)友人と遊びたくて(七、五%)

二、好奇心から……二六%

三、うざばらし……十一、三%

四、陶酔感を求めて……十、五%
となっています。(科学警察研究所資料による)

また、吸引者の九十%が、害があること知りながら続けているのです。その理由として、何となく吸わないと気が済まない、友達誘

い、おもしろかったからの三点があげられています。

さて、友達の影響が強いことは先に述べたとおりですが、吸う本人にももちろん原因がありましよう。

本人の性格として

一、意志が弱くて飽きやすい

二、無気力

三、小心・弱虫・内弁慶

四、わがままで、我慢する力が乏しい

五、劣等感があり、内向性などの特徴があげられています。

そのほか、知識、健康状態、年齢など、さまざまな要素があげられるでしょう。

環境的な要因として、本人が目標を持てない、物事に熱中できないなど、生きざまが問題点になります。無気力、無感動の生活が一時的な楽しみ、刺激的なものへ向うことになります。

例えば、クラブ活動に参加していない、学力が低くて、授業についてゆけない、何の趣味も楽しみもない、友達からも疎外されているなどがあげられると思います。

私たちは青少年と共にまず、生命を、人生を大切にすることを真剣に考えなければなりません。

その基本的認識にたつて具体的な解決策を見出し、指導を充実してゆくべきだと思います。

ふるさとへのたより



広報うまじでは、『ふるさとへのたより』というコーナーを設けており、仕事などの関係で故郷馬

ふるさとさん

こんにちわ

前略、今度、魚梁瀬に在住する友人から『森林鉄道物語』を送ってもらい、読ませていただきました。

私も二十余年を魚梁瀬にて森林鉄道と共に過して来た者ですのでたいへん懐しく、また、感激しております。今は主人の転勤について（以前、主人は魚梁瀬営林署に勤務）あちこち流れ歩いておりますが、私の故郷は今でも魚梁瀬であると思っております。幼小時、ガソリンと呼んで親しんだ私たちの愛車がこのような素晴らしい本になって生まれかわった事をとても嬉しく思います。

合宿所にいた頃、中川の家に戻

路村を遠く離れて生活をしている方々などから、家庭の状況など近況をお知らせいただき、掲載させていただきます。

本号では、相名部落出身で、現在、高知市にお住まいの北岡芳馬さんと、かつて二十年あまり魚梁瀬に住んでおられて、今は東京都市田谷区に住んでおられる内田桂子さんからのたよりを掲載させていただきます。

りたくて、母の乗ったガソリンを追いかけたのがきのうのように思い出されます。長じた後も、よく他人さまから、「あんたがガソリンを追いかけた子か」と言われたものです。

郷土館も開館したとか、今夏に帰郷の節には、ぜひ、まいりたいものと楽しみにしております。

草々

東京都世田谷区

ふるさとの

みなさまへ

広報うまじにいつも感謝しています。

故郷を思うとき、牛曳ぎのトロツコの時代から汽関車となり、長年親しまれ文化と繁栄をもたらした

た汽関車も時代の流れによって廃止され、また、営林署の統廃合と大きな革命にあいつつもそのたびごとにくじけるどころか、ますます力強く発展してきたことは我が村の誇りであると思います。特にこの四、五年のめざましい進展ぶりに大きく変わりつつある故郷を心からうれしく思っている次第です。過疎化の問題、林業の危機等最も困難なとき、この我が村の底力をもつてますますの発展を祈っております。

さて、私は兵隊に出でから殆んど村におちつく事なく四十五年が過ぎ、いつの間にか老齢の組に入ってしまった。今は家内と肥立ち三か月に入った孫の世話をする日々です。それと十年以上前から後従韋骨化症という聞き慣れない頸椎の病気に悩まされています。これは神経痛のようなものでいくらぐあいの悪い時でも他人にはわからず、知人等は「一病息災言つてそれ位がえいぞよ」などと言われる始末です。誠に損な持病を背負ったものと嘆いております。それで好きだった囲碁も忘れてしまい、六十過ぎて習った歌作を唯一の楽しみとしています。

以下、愚作失礼ながら、ふるさとの便りに替えさせていただきます。



重要文化財一般公開

金林寺薬師堂県文化財指定祝賀法要

このたび、金林寺薬師堂が三月三十日付で県文化財の指定を受け、（詳細は広報第九五号に掲載）六月二十五日に祝賀法要が行なわれました。

また、郷土学習として、馬路小・中学生も見学し、越智住職西野教育長らの説明に熱心に耳をかたむけていました。

空遠く重なる山も澄む川も秋日のどけしわが馬路村

ゆずの香する料理に足らひ仰ぐ山四十年を過ぎし思いに

吊り橋は車の通る橋となり真砂の見ゆる流れ見下ろす

八十に近きわが姉妹おきて土はらいつつ畦に寄りきぬ

その他

駐車場となりし母校の跡に立つ汽車の走りし村の変わりて

久びさに逢えばかたみにほいと云ふ村の友らも老に入りたり

故郷の遠くなりつつ届きたる村の広報に君の計を知る

夕餉刻汽車の帰りの汽笛の音はわれに最も染みて残れり

私淑する有沢宗重山下亀一氏一ツ拠り処の歌を詠みつつ

扇風機の風も痺れりし足にこたえわれには長き夏を過ぎむ

高知市 北岡 芳馬

さびれゆく集落 その二

川平

源平合戦の頃、川平兵衛守平義貞が家臣小松・山本・村岡・西村・中屋・山下らを連れて落ちてきてここへ土着し、土地を開拓したと伝えられています。長宗我部地検帳に川平名本ヤシキ十五代があり、川原・中川・東川を支配していたと思われる。州郡志に宿野谷北・凡二とある。(以上『馬路村史』から)

最近まで川平にひとり住まいをしていたが、今は川下の中ノ川、青杉橋のたもとで家族といっしょに生活し、畑作業のため時々かよって来る、今年八十二歳になられる河平のおばさんにお話を聞いてみました。

明治の末、ここには八戸の家があり、約五十人が住んでいたそうです。

その頃、学校へ行くには山を越して宿の谷へ出、約二里の道を学校へ通ったそうです。仕事といえば、山を切り開いて田を作り背丈の低い稲を植えて

たりしていたそうです。

また内職として紙すきの原料となるのりの木の皮をはいで、出荷していたとも語っておられました。

今では、家屋が三軒残っていますが、実際は、このおばさんと、そのご家族が畑や柚子の手入れに訪れるだけで誰も住んでいません。



→川平部落

伝説散歩

一夜建立のお堂(日浦)

日浦の金林寺にある薬師堂は、厄ぬけの薬師さまとして有名である。

厄年の数だけの石段がある。女坂、男坂もある。

一昨年の夏のことだった。馬路村の夏季文化講座の講師に招かれて出かけて行った。このとき、教育長の西野さんが、馬路村の民話の語り方を紹介してくださった。郵便局長の三宅重雄さん、村文化財調査委員の大野盛さん、笹岡武治さん、門田整さんそれから乾光秀さん……こうした方たちにお逢いして馬路の伝説や世間話をうかがった。

そのなかに、この薬師堂にまつわる、弘法伝説があった。

むかし、大同二(八〇二)年、お大師さまが、四国八十八カ所まわりの途中、この地へこれ、天狗を使うて用材をとってこらせ、一晩のうちに祠堂を建てようとしたそう。

ところが、アマノジャクがおって、これはなんでも人の反対をして喜ぶ奴じゃき、じゃまをしちゃうと思うて夜中時分にトリを歌わしたと。

トリが歌うと、夜が明けるじゃろ。ほんで天狗はあと縁をつけたら、全部おわるがじゃったけんど、半分だけつけて止めてし

もうたそう。

これが薬師堂の一夜建立の伝説である。縁がまわっていたら礼所になるところだったのにと、後年、残念がられた。もっともこの種の話は、典型的な大師伝説の一つで全国各地でみられる。

なお、この薬師堂のご本尊である薬師如来像は、これまた伝説によると、むかし行基という高名な坊さんが、遍歴の途中、ここへ来て、一木三体の薬師像を彫ったというのである。

それであとの二体の行方はというと、一体は安田町中山の北寺に、あと一体は奈半利町の薬師堂にあるといわれている。

行基といえば、天平時代の有名な高僧で全国各地を巡って池を堀り、橋をかけ、道路をつくる等の社会事業を行った事なので名が知られている。土佐のあちこちの寺に行基作と伝えられる仏像があるがあくまでも伝説と考えられることはない。

市原麟一郎著
『芸西伝説散歩』
より

